

戦争を知らない世代へのメッセージ

平成29年

茨木市 非核平和展

入場
無料

—戦争で命を奪われた動物たち—



<資料提供:天王寺動物園>

8月1日火→8月6日日 茨木市立中央図書館
▶9:30～20:00 (※土・日は17:00まで) (茨木市畑田町1-51)

1F エントランスホール

●戦争で命を奪われた動物たち

1・2F ●平和を考えるクイズラリー

茨木市役所本館 1F ロビー

本館は ▶8:45～17:15まで
(土曜日閉庁・日曜日は正午まで)

●戦時下のいばらきパネル展

私たちのまち、茨木市が戦争によって
受けた被害をパネルで紹介します。

2F ギャラリー / 多目的室

- 立命館大学国際平和ミュージアム企画
- 原爆被害者の会「非核平和語り」 8月6日日
- 「原爆と人間」展
- 平和アニメ上映
- 平和のメッセージ
- 平和と学びポスター展

開催期間中、中央図書館にて『関連図書・ビデオ特設コーナー』を設けています。

■主催



茨木市

■協力

立命館大学国際平和ミュージアム
茨木市原爆被害者の会
日本非核宣言自治体協議会

■問合せ先

人権・男女共生課
TEL 072-622-6613 (直通)

展示内容のご案内

72年前の終戦を迎えるまで、日本は外国と戦争をしていました。日本の経験した決して風化させてはならない事実です。戦争体験者の高齢化が進むいま、改めて忘れてはならない戦争の記憶を振り返ることで、“戦争の悲惨さ”“平和の尊さ”について、そして『真の平和』を築くために私たち一人ひとりに何ができるのかを考えます。

茨木市立中央図書館

1F エントランスホール

●「戦争と動物」パネル展示 戦争で命を奪われた動物たち

平和な時代には大人や子どもの人気者、人々を楽しませてくれていた動物園の罪なき動物たちも、戦時下では犠牲となりました。食料難の時代、食べ物は人間に優先され、空襲で動物園から街へ逃げ出した時の混乱を想定して多くの動物たちが殺されました。そんな悲しい動物たちの実話をもとに構成したパネルでご紹介します。



2F ギャラリー



●立命館大学国際平和ミュージアム企画

日本平和博物館会議加盟館紹介パネル展

「日本平和博物館会議」は、戦争の悲惨さを人々に伝え、平和の実現のために協力して調査・研究を行い、平和推進事業を発展させることを目指して1994年に結成されました。さらに、戦争の被害や加害の問題のほか、貧困、差別、環境問題など、自己の能力が豊かに花開くことを妨げるさまざまな社会的暴力の克服のために、展示を通して平和創造のための努力への参加を呼びかけています。加盟10館の概要をパネルでご紹介します。

2F 多目的室

●原爆被害者の会「非核平和語り」

8月6日 日 10:30~11:30
13:00~14:00

「茨木市原爆被害者の会」の語り部による非核平和語りを開催します。実際に体験された方の語りにより、戦争の悲惨さをより身近なものとして伝えます。

●平和アニメ上映

非核平和に関するアニメ映画を、非核平和展開催期間中に上映します。

上映作品 ※各日数回ずつ上映

「さようならカバくん」「しんちゃんのさんりんしゃ」
「ながさきの子うま」「はとよ ひろしまの空を」

●平和のメッセージ

当日会場に、皆さんの“平和を願う”気持ちを書いていただくコーナーを設けます。ご自由に、「絵画」や「メッセージ」をお寄せください。

1・2F ●平和を考えるクイズラリー

受付で回答用紙をお渡しします。クイズポイントは4か所。全問解答者には、参加記念品を差しあげます。

●「原爆と人間」展

1945(昭和20)年8月6日、原子爆弾が史上初めて広島に投下されました。その3日後には長崎に。街は一瞬のうちに焦土と化し、多くの人々がその犠牲となりました。当時の悲惨な状況をパネルで紹介します。



〈資料提供〉茨木市原爆被害者の会

●平和と学びポスター展

小学校低学年の児童が、戦争と被爆の実相や平和の大切さへの理解を深めるためのポスター(11枚)

茨木市役所本館 1F ロビー

●戦時下のいばらき

私たちのまち・茨木市も、戦争による被害を受けました。戦時下のいばらきの様子や空襲の被害状況、市民の体験談などをパネルで紹介합니다。

会場へのご案内



JR「茨木駅」下車北へ1500m、または阪急「茨木市駅」、JR「茨木駅」から阪急バス80系統「中央図書館前」下車

※ご来場の際は徒歩、自転車、公共交通機関をご利用ください。